

三沢商業高校 S A H ・ H a u l - A の取組について

(エスエーエイチ) ・ (ホールエー)

R 6 年度

1. S A H指定の経緯

平成20年度より、簿記検定の受験を日商ベースとすることとした。導入当初は、年度により各学年での取得率にも6割から8割と大幅に波があり、合格率が安定しないことが多かった。平成27年度より、正式に日本商業教育振興会からの指定を受け、S A H事業“花咲け未来プロジェクト”として取組むこととなった。令和6年度からは”一簿一笑(いちぼいちえ)”をテーマに掲げ4クール目に突入している。

2. S A H事業の目的

生徒が夢を実現するハイレベルな教育を実践し、商業高校出身者として地域や本県、ひいては国民経済発展のために第一線で活躍する職業会計人や広く簿記の能力を生かして社会貢献に資する人材を育成する。

商業高校で3年間簿記を学び、興味を持った生徒が大学へ進学し税理士、公認会計士になる夢を叶えることで生涯の仕事をつかむことを目的としたプロジェクトである。

3. これまでの成果

平成25年度生から取得率が年々増加し、Haul-Aプロジェクトに参加している生徒(簿記部)から、平成27年11月において、本校創立以来初の日商簿記1級の合格者(右)を出すことができた。この吉報は、本校はもとより地域の方々からも喜んでいただくことができた。また、報道機関からもたくさん取り上げていただいた。



翌年平成28年11月検定においては、1級に2名の合格者(左)を出すことができた。うち1名男子は、平成28年7月に行われていた全経上級試験にも合格することができ、高崎商科大学に進学後、平成30年の大学2年生で公認会計士に合格を果たしている。女子は2年生で1級に合格し、現在も公認会計士合格に向けて勉学に励んでいる。



さらに翌年平成29年6月検定において1級に1名の合格者(右)を出すことができた。29年度卒業生は高崎商科大学に3名進学しうち2名が令和3年の大学4年生で公認会計士合格を果たしている。



そして令和4年6月検定において6年ぶりに1級合格者(左)を出すことができた。今年、高崎商科大学に進学し公認会計士を目指している。2級・3級の取得率が上昇し、4年連続日商簿記取得率100%達成したこと、日商1級合格者が出たこと、さらには、卒業生から3名の公認会計士が誕生したことで多くの生徒達の自信にもつながっている。

これまでは簿記部から1級合格者が誕生していたが、昨年度は珠算部からの合格者を輩出できた。本生徒は朝日大学に進学し公認会計士を目指す。今後も部活動と学業の両立を継続していきたい。